

## 「第38回雲南懇話会」開催のご案内

山旅、環境変動、黎明 / 夢・好奇心一

雲南懇話会代表幹事 前田栄三

「第38回雲南懇話会」を下記のとおり開催致しますので、ご案内します。

「雲南懇話会」は、中国雲南省の最高峰・梅里雪山（6,740m）を中心とする「雲南・チベット地域」及びその周辺地域の総合的な研究を進める事を目的に、2004年12月に発足、今年で12年目となります。

懇話会は、国内での「地域研究の集い」と現地での「Field Work」&「Study Tour」で構成されます。

2016年6月以降、雲南懇話会主催は変わらず、京都大学ヒマラヤ研究ユニット&AACK共催となりました。

記

1. 日 時； 2016年9月04日（日）12時45分～17時30分。茶話会；17時30分～18時40分。

2. 場 所； JICA市ヶ谷ビル（旧国際協力総合研修所）国際会議場。茶話会は国際会議場横の会議室で行います。

<http://jica-ri.jica.go.jp/ja/about/access.html> JR中央線・総武線「市ヶ谷駅」下車。

3. 懇話会の内容 <講師、演題、講演の順序など変更ある場合は、ご了承をお願い致します。>

① 「ネパール、ムスタンの旅」 - 雲南懇話会第11回フィールドワークの記録、2016年4月 -  
桐蔭会山岳部OB会、京都大学学士山岳会（AACK） 遠藤 州

② 「インド・シッキム州、カンチェンジュンガ東面の山旅、2016年4月」 - 困難な入城、  
ゼム氷河、シニオルチューの麗姿のことなど - 雲南懇話会幹事、薔薇愛好家 頭師 正子

③ **トピック** 「転換期にあるミャンマーの今、その素顔」 - アウンサンスーチー女史への期待 -  
NPO法人「小水力発電をミャンマーの農村へ」理事、神戸大学名誉教授 大津 定美

④ 「ヒマラヤ地震博物館」 - ネパール・ヒマラヤの環境変動研究から考える -  
カトマンドウ大学客員教授、滋賀県立大学名誉教授、北海道大学山の会（AACH） 伏見 碩二

⑤ 「中国の水資源・水環境をめぐって」 - 沿岸部と内陸部の対比から -  
総合地球環境学研究所教授、AACK 窪田 順平

4. 懇話会参加費用； 一人2,500円。但し、学生・院生は無料。

茶話会参加費用； 一人1,500円。学生・院生は500円。

5. 参加申込； 前田栄三 e3maeda\*ab.auone-net.jp or 小林尚礼 bakoyasi@gmail.com まで。

（SPAMメール防止のため、@を伏せ字にしています。使用时、変換願います。）

以上

**ご参考**； 懇話会では自然科学・社会科学を問わず交流を進めています。この為、対象地域は雲南・チベット地域を中心にタイ、ラオス、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、インド、ブータン、ネパール、パキスタン、四川省、青海省、新疆ウイグル自治区、内モンゴル自治区、モンゴルなどに及びます。近年、シルクロードを西へ更に西へ、西域から中央アジアのキルギス、カザフスタン、タジキスタン、ウズベキスタンに及んでいます。京都大学ヒマラヤ研究ユニット：[http://www.kyoto-bhutan.org/ja/news/139\\_2016-02-15.html](http://www.kyoto-bhutan.org/ja/news/139_2016-02-15.html) を参照下さい。